

事務事業評価調書

事務事業名	総合福祉会館施設管理事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業への変更。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立総合福祉会館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	12							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	総合福祉会館の施設・設備。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適切な維持・管理をします。 長期間にわたる施設の安全保持。												
(7) 事業概要	総合福祉会館は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設としての維持管理を行います。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	10	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		82,823	77,249	75,874	67,667	75,527							
	人件費	職員数	人	1.40	1.40	1.40	1.40							
		総額(B)	千円	11,620	11,126	11,693	11,693							
	総事業費(A+B)		94,443	88,375	87,567	79,360	86,965							
	特定財源(C)		2,126	2,089	938	998	1,004							
	(内訳)	国	1,150	1,150	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	976	939	938	998	1,004							
	市負担(D)		92,317	86,286	86,629	78,362	85,961							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		92,317	86,286	86,629	78,362	85,961								
財源計(C+D)		94,443	88,375	87,567	79,360	86,965								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日東カストディアル・サービス(株)											
			② (一社)吹田市障がい者の働く場事業団											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 近畿ビルサービス(株)大阪営業所											
			施設管理・清掃・警備業務他											
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	清掃、警備、設備管理等を適切に実施します。			目標	会館利用の安全を確保します。		
	②	成果内容	会館の維持管理を適切に行っています。			達成状況	事故もなく市民が会館を利用できています。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		この施設は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設です。本会館では、あらゆる事業(市民、乳幼児健診、バンビ親子教室いそが教室、生活介護事業、障がい者教室、地域包括支援センター等)を実施しており、市民等への還元も大きく、施設の維持及び安全を保ち、会館の安心・快適な使用を提供しなければならないと考えています。また、年々、修繕必要箇所が増えていくので館内の室課等や資産経営室との連携を深めて、効率のよい修繕等を進めていく必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	総合福祉会館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00351				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00351
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

総合福祉会館は築30年目を迎え、築浅の時期と比べると、施設維持補修経費がかかることは止むを得ないと思われま

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本会館は、昭和62年(1987年)に建築された建物で、耐用年数は50年とされています。各機器に関しては耐用年数を大幅に過ぎている物も多く、設備管理担当者や各メンテナンス業者から指摘を受けています。施設の維持及び安全を保ち、安心、快適な使用を提供するため日々の保守点検はもとより、計画的な機器の更新及び整備は必要不可欠です。</p> <p>平成27年度には施設改修事業で行った大規模な工事の他に、施設管理事業においても不具合の修繕を22件行う等、老朽化した設備を補修することによって安定した会館運営に努めました。平成28年度は非常用自家発電設備のオーバーホールを予定しており、館の安全を維持するために関係部局と調整し、実施計画及び予算要求を進め、施設の維持管理に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	総合福祉会館施設改修事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業へ変更。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	12							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	総合福祉会館の施設・設備。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	適切に維持・管理します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	長期間にわたる施設の安全保持。													
(7)	事業概要	総合福祉会館は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設としての維持管理を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	10	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,698	9,061	14,026	63,720	176,998							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		10,358	10,651	15,697	65,391	178,632							
		特定財源(C)		0	0	0	45,488	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	45,488	0							
		市負担(D)		10,358	10,650	15,697	19,903	178,632							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	10,358		10,650	15,697	19,903	178,632									
財源計(C+D)		10,358	10,650	15,697	65,391	178,632									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	改修工事の実施件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	1.00
			実績値	(単位:件)	1.00	1.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	予算措置された改修工事の件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10,651.00	65,391.00	
				一般財源(単位:千円)		10,651.00	19,903.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	長期間にわたって施設の安全を保ち、安心・快適な場を提供します。	達成状況	改修工事により、施設の老朽化の対応ができ、事故なく安心・快適な場を提供できています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	この施設は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置され、さらに平成27年2月より暫定的に休日急病診療所も開設された福祉と保健の複合施設です。本会館では、あらゆる事業(市民、乳幼児健診、バンビ親子教室、いきがい教室、生活介護事業、障がい者教室、地域包括支援センター等)を実施しており、市民等への還元も大きく、施設の維持及び安全を保ち、会館の安心・快適な使用を提供しなければならないと考えます。平成27年度は中央監視装置の更新、外壁改修工事を行いました。今後はより一層関係部署との連携を深め、優先順位を考え、計画的にかつ早急に機器の更新及び整備を進めて行く必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	総合福祉会館施設改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00352				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00352
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

総合福祉会館は築30年目を迎え、築浅の時期と比べると、施設維持補修経費がかかることは止むを得ないと思われま

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays the following scores for each dimension: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (5), and 持続可能性 (5). The chart is a five-pointed star with concentric lines at intervals of 5, from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>本会館は、昭和62年(1987年)に建築された建物で、耐用年数は50年とされています。各機器に関しては耐用年数を大幅に過ぎている物も多く、設備管理担当者や各メンテナンス業者から指摘を受けています。施設の維持及び安全を保ち、安心、快適な使用を提供するため日々の保守点検はもとより、計画的な機器の更新及び整備は必要不可欠です。経年劣化による不具合として、各室の空調設備の動作不良や機械室の空調機の内部の劣化の進行、非常用自家発電設備の減圧水槽の劣化等が起こっています。また機器の長期間にわたる使用により修理が不可能なものも増えており、自動火災報知機の部品全てが製造中止で故障しても部品交換が不可能である等、会館の安定的な運営に課題がある状況です。平成28年度は大規模な工事として、空調設備改修工事を予定しており、今後も館の安全を維持するために関係部局と調整し、実施計画及び予算要求を進め、施設の維持管理に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	福祉活動の場提供事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業へ変更。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立総合福祉会館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	12							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	高齢者、障がい者、母子及び関連福祉団体。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域福祉などの活動の拠点として、よりよい福祉の充実を図ります。												
(7) 事業概要	高齢者、障がい者、母子及び関連福祉団体等に対し、活動の場を提供します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	10	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		595	590	591	547	591							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,745	4,564	4,767	4,723	4,676							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,745	4,564	4,767	4,723	4,676							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,745	4,564	4,767	4,723	4,676								
財源計(C+D)		4,745	4,564	4,767	4,723	4,676								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	近畿ビルサービス(株)大阪営業所										
			②											
			③											
	主な委託内容		夜間、土・日曜日の貸室業務(警備業務含)											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	会議室等の貸館延件数	目標値	(単位:件)	4,000.00	4,000.00	4,000.00	
			実績値	(単位:件)	3,824.00	3,718.00		
			達成度(%)		95.6	93.0		
	目標値の積算方法	(貸館日数(281日×3回(午前・午後・夜間))×8室の約60%)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.19	1.27	
				一般財源(単位:千円)		1.19	1.27	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	会議室等の貸館延利用人数	目標値	(単位:人)	87,000.00	85,000.00	85,000.00	
			実績値	(単位:人)	81,178.00	78,715.00		
			達成度(%)		93.3	92.6		
	目標値の積算方法	(貸館日数(281日×3回(午前・午後・夜間))×8室×21人(平均利用者人数)の約60%)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.06	0.06	
				一般財源(単位:千円)		0.06	0.06	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		総合福祉会館は、3センター機能(高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉)をもっており、それらを対象とした事業(市主催の事業及び各種団体主催の事業)を行っているため公共性も高くなっています。また関係福祉団体等の福祉活動の拠点として利用率は高く、当事業の継続は必要と考えられます。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	福祉活動の場提供事業	事業区分	その他
事務事業番号	00353				

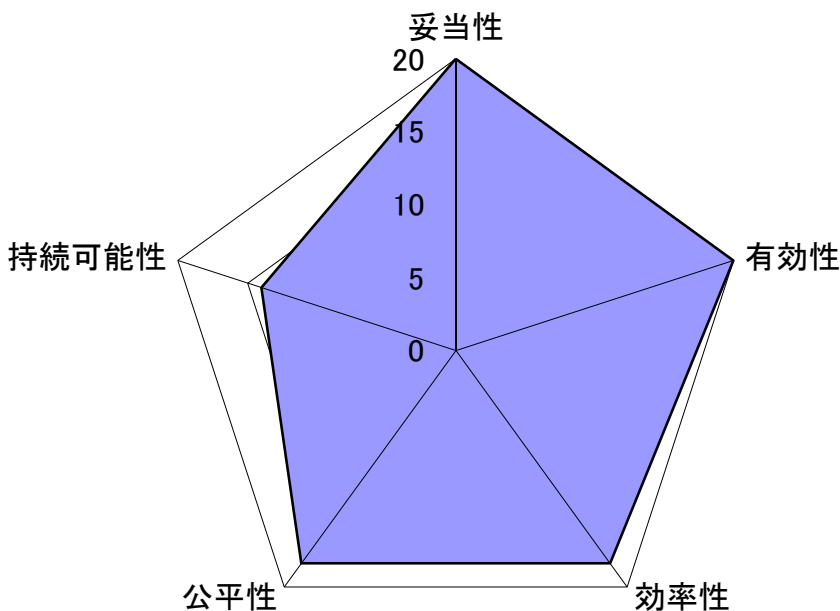
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00353
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>総合福祉会館は、高齢者、障がい者、母子福祉センターの機能をあわせもつ施設であり、また保健センター、保健会館も設置された福祉と保健の複合施設です。 本事業の主なもの、施設の貸館事業であるが、複合施設であるため、他部局との連携や調整を要することも多く、現在、総合福祉会館の維持管理と一体的に実施しており、本事業の一部委託は困難と考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	介護予防サービス計画策定事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容	医療と介護の連携、認知症施策の推進、生活支援と介護予防サービスの充実、新しい介護予防と日常生活支援総合事業が新たに規定された。											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	12							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険法に基づく要支援認定者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	福祉の増進を支援します。 心身の健康の保持及び地域において、尊厳ある生活の維持が図られます。												
(7) 事業概要	<p>介護保険の指定介護予防支援事業所としての業務です。 介護保険の要支援認定者の介護予防サービス計画策定業務を実施するものです。 要支援認定者の状況やニーズに合わせ、自立支援につながるよう介護保険サービス等の支援計画を策定します。毎月、状況把握を行い、3か月には1回必ず家庭訪問を行い、計画の評価を行います。介護報酬請求事務も行います。 サービス計画の一部については、民間の指定介護支援事業所へ委託を行っています。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	10	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		8,183	9,623	11,563	12,949	10,048							
	人件費	職員数	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00							
		総額(B)	千円	33,200	31,788	33,408	33,408	24,510						
	総事業費(A+B)		41,383	41,411	44,971	46,357	34,558							
	特定財源(C)		8,183	19,869	11,563	21,641	14,820							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	8,183	19,869	11,563	21,641	14,820							
	市負担(D)		33,200	21,542	33,408	24,716	19,738							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		33,200	21,542	33,408	24,716	19,738								
財源計(C+D)		41,383	41,411	44,971	46,357	34,558								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	指定居宅介護支援事業所										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護予防サービス計画策定業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 介護予防サービス利用者数 片山、千里山東・佐井寺地域	目標値	(単位:人)	319.00	375.00	249.00
			実績値	(単位:人)	375.00	425.00	
			達成度(%)		117.6	113.3	
	目標値の積算方法	介護予防サービス利用者数前年度実績 平成28年度より片山地域のみとなる。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	108.14	109.08	
				一般財源(単位:千円)	84.77	58.16	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 介護予防サービス計画策定件数 (介護予防支援報酬請求件数) 片山、千里山東・佐井寺地域	目標値	(単位:件)	3,807.00	4,304.00	2,844.00
			実績値	(単位:件)	4,304.00	4,851.00	
			達成度(%)		113.1	112.7	
	目標値の積算方法	介護予防サービス計画策定件数 (介護予防支援報酬請求件数) 平成28年度より片山地域のみとなる。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.42	9.56	
				一般財源(単位:千円)	7.39	5.10	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、包括的支援事業とともに地域包括支援センターの必須事業です。平成28年度は事業内容に大きな変更はありませんが、平成27年4月の介護保険制度改正において、要支援者へのサービス提供のあり方が大きく変更されたため、本事業も、現行どおり実施する部分と変更する部分があります。変更については早急に実施方法を決定し、地域包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知します。</p>				

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	介護予防サービス計画策定事業	事業区分	その他
事務事業番号	00354				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00354
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、介護保険法において地域包括支援センターが包括的支援事業とともに実施すべき事業として定められています。介護予防サービス計画作成については、地域包括支援センター職員が担当するとともに、一部は民間の指定居宅介護支援事業所に委託して事業を進めてきました。介護保険法の改正に伴い、要支援者へのサービス提供のあり方が大きく変更されるため、本事業も実施方法を早急に決定し、包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年4月の介護保険制度改正に伴い、本事業は、「介護予防・日常生活支援総合事業」に吸収されます。本市では平成29年4月実施を予定しています。

事務事業評価調書

事務事業名	生活介護施設運営事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法に基づく生活介護事業から障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく生活介護事業へ変更。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、吹田市総合福祉会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	32							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図ります。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	社会参加の促進。												
(7)	事業概要	在宅の障がい者を対象に送迎付の通所による創作的活動、機能訓練、入浴、給食等の各種サービスを提供します。なお、当該事業は、昭和62年4月の開設以来、在宅障がい者デイサービスとして重度障がい者を対象として実施してきましたが、平成15年4月からの障害者支援費制度、平成18年4月から障害者自立支援法のもとで事業を実施し、平成19年4月から新体系である生活介護事業へ移行し、平成24年10月から事業を委託しました。また、平成24年の法改正により障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に変更されています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	10	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		45,462	45,320	52,055	52,318	52,153							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		53,762	53,267	60,407	60,670	60,323							
		特定財源(C)		26,219	22,189	32,042	28,020	27,360							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	26,219	22,189	32,042	28,020	27,360							
		市負担(D)		27,543	31,078	28,365	32,650	32,963							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	27,543		31,078	28,365	32,650	32,963									
財源計(C+D)		53,762	53,267	60,407	60,670	60,323									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	アースサポート株式会社										
				②	株式会社オールケアライフ										
				③											
		主な委託内容		生活介護事業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間延べ利用者数	目標値	(単位:人)	1,936.00	2,187.00	2,430.00
			実績値	(単位:人)	1,532.00	1,865.00	/
		達成度(%)		79.1	85.3		
	目標値の積算方法 243日(開所日数)×10人(1日最大利用者数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	34.77	32.53		
			一般財源(単位:千円)	20.39	17.51		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	社会参加機会の実現、健康状態の把握と病状の維持、リハビリの実施によるADLの維持及び二次障がい予防の実現、家族の介護負担軽減と必要とされる適切な支援の実施。			達成状況	集団生活と家庭生活のサイクルが維持できており、他の利用者さんの気持ちを配慮することができ、社会参加への意欲向上がみえる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	この事業は、昭和62年開所当初から障害者福祉センターの主事業に掲げてきた事業ですが、重複及び医療的ケアが必要な障がい者のニーズに対応する入浴サービスを提供できる生活介護事業所として、総合福祉会館の生活介護事業の役割は重要となっています。 事業の担い手については、平成24年9月末まで市直営で運営していましたが、本事業のコスト削減と事業の安定的な継続をめざし、平成24年10月から民営委託に変更しました。平成25年度以降は、療育に携わる職員数を平成24年度の6.5人から7.5人に増員するため、委託料の増額を行いました。平成27年度はさらに利用人員の増加を図るため職員数を8.5人に増員したため委託料を増額しています。今後も利用人員の増加に伴う職員の増員や送迎車両の増車等を含めた委託料の増額が必要となります。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	生活介護施設運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00355				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00355
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度から1日の平均利用者数を10人受け入れられるための人員の整備等を行っています。平成26年度は、利用者の入院やインフルエンザによる欠席等のため、1日の平均利用者数は7.0人とどまっていますが、平成27年度については1日の平均利用者数は7.6人に増加しています。

また、平成24年10月から長期継続契約をしていた業者との契約期間が終了し、平成27年10月からはプロポーザル方式により選定された新たな事業所による運営に変わったため、利用者や家族の方からは、引き続き同等のサービスが継続できるのかと不安もあったが、概ね満足いくサービスが受けられている。今後も利用者やその家族からの意見を傾聴し、サービスの向上に繋げられるよう図っていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>総合福祉会館は、生活介護事業所として、在宅障がい者に対し、通所により入浴・排泄・食事の介護等を行うとともに、創作的活動の機会等を提供しています。また、医療的ケアを必要とするケースや介護負担の大きい入浴のニーズに対応する拠点施設として、あいほうぶ吹田とともにその役割を担っています。アウトソーシング推進計画により、平成24年(2012年)10月1日から民間委託し、事業を実施しています。</p> <p>また、年々増加する医療的ケアを要する重度障がい者のニーズに対応するため、利用枠の増加を図る必要があり、平成24年度の1日平均利用者数6.5人を平成25・26年度は8人、平成27年度は9人とするため人員の整備を行い、平成24年度まで別の受託者に委託していた生活介護の療育、給食調理、送迎について、平成25年度から1つの受託者に統一することにより、事業の一体的提供を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国の動向として、平成25年4月1日より本事業の根拠法令となっている「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に変更されたため、総合福祉会館条例等の改正を行ったところです。

事務事業評価調書

事務事業名	陶芸教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。											
(2)	直近の改正	平成19年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	33							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。													
(7)	事業概要	在宅障がい者に対し、陶芸教室を行うことにより、機能訓練・日常生活訓練を図ります。毎週水曜日午前の部・午後の部として、総合福祉会館で実施しています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	14	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,110	2,092	2,110	2,101	2,110							
		人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
			総額(B)	千円	2,075	1,987	2,088	2,088	2,043						
		総事業費(A+B)		4,185	4,079	4,198	4,189	4,153							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,185	4,079	4,198	4,189	4,153							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,185	4,079	4,198	4,189	4,153								
財源計(C+D)		4,185	4,079	4,198	4,189	4,153									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施回数	目標値	(単位:回)	96.00	96.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	96.00	96.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間教室実施回数 概ね毎週水曜日2回(午前・午後)×年48週	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		42.49	43.64	
				一般財源(単位:千円)		42.49	43.64	
	②	指標内容	延べ利用人数	目標値	(単位:人)	1,152.00	1,152.00	1,152.00
実績値				(単位:人)	691.00	736.00		
達成度(%)				60.0	63.9			
目標値の積算方法		15人(1回あたりの定員)×80%(出席率)×96回(年間教室実施回数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.90	5.69	
				一般財源(単位:千円)		5.90	5.69	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合 示 合 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	陶芸教室を開催することにより、在宅障がい者の日常生活能力を高め、社会参加を促進します。			達成状況	陶芸教室に参加し、創造力を高め、互いに交流を通じて社会参加も促進されます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>在宅の軽度の障がい者を対象に創作活動、交流の場を提供し、障がい者の社会参加の役割を果たしています。</p> <p>コミュニケーションを重視した創作的活動の場として自立の促進、生きがいの醸成、身体機能の維持を目指すなど評価できる事業です。</p> <p>利用者が限定される教室ですが、広報や参加者の口コミ等により新規参加者も増えていますが、高齢や病気等の理由で教室をやめる方もあり、参加者が増えない状況が続いています。</p> <p>障がい者に対する文化、趣味、教養教室が少なく、参加者相互の交流を教室を通じて深めることにより、生きがいを高める、ということで総合福祉会館の陶芸教室の実施意義は高いと考えます。</p>					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	陶芸教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00356				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00356
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業者団体による陶芸教室が開催できるよう検討を進めていますが、障がいの特性や多様な利用者が参加しているという点があり、対応できる実施主体、類似事業がなく苦慮しています。また、窯が老朽化しており、今後事業の継続のためには、窯の更新が不可欠であります。</p> <p>今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	料理教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	33							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	在宅障がい者及びその介護者。											
	結果(どのような効果が得られるのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
(7) 事業概要	在宅の軽度障がい者に対し、料理教室(4回)を通じて、機能訓練・日常生活訓練を行います。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	14	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22	22	22	22	22							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
	総事業費(A+B)		437	420	440	440	431							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		437	419	440	440	431							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		437	419	440	440	431								
財源計(C+D)		437	419	440	440	431								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 料理教室実施回数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	/
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	料理教室年4回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	105.00	110.00	
				一般財源(単位:千円)	105.00	110.00	
	②	指標内容 料理教室参加者数	目標値	(単位:人)	80.00	80.00	
実績値			(単位:人)	80.00	80.00		
達成度(%)			100.0	100.0			
目標値の積算方法	料理教室定員20人×4回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.25	5.50		
			一般財源(単位:千円)	5.25	5.50		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	料理教室を通して、機能訓練・日常生活訓練を行い、健康の増進と社会活動への参加を促進させ、生きがいを高めています。			達成状況	障がい者の健康が増進され、社会活動への参加も促進されており、生きがいを高めています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		軽度の障がい者を対象にコミュニケーションと交流を重視した仲間づくりと生きがいつくりの場として多くの参加者があり、教室の定員も充足しています。教養文化活動等の機会を提供する事業として有効な手段だと考えます。				

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	料理教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00357				

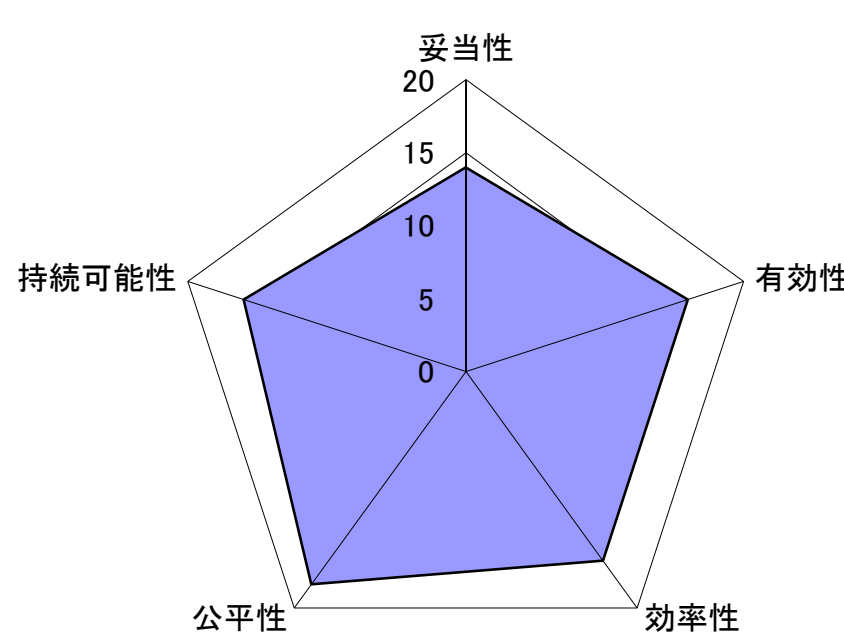
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00357
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	社交ダンス教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	33							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	在宅障がい者及びその介護者。											
	結果(どのような効果が得られるのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
(7) 事業概要	在宅の軽度身体障がい者に対し、社交ダンス(年5回)を通じて、機能訓練・日常生活訓練を行います。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	14	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		28	28	28	28	28							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
	総事業費(A+B)		443	426	446	446	437							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		443	425	446	446	437							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		443	425	446	446	437								
財源計(C+D)		443	425	446	446	437								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 社交ダンス教室実施回数	目標値	(単位:回)	5.00	5.00	/
			実績値	(単位:回)	5.00	5.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	社交ダンス年5回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	85.20	89.20	
				一般財源(単位:千円)	85.20	89.20	
	②	指標内容 社交ダンス教室参加者数	目標値	(単位:人)	75.00	75.00	
実績値			(単位:人)	75.00	75.00		
達成度(%)			100.0	100.0			
目標値の積算方法	社交ダンス教室定員15人×5回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.68	5.95		
			一般財源(単位:千円)	5.68	5.95		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困 難 指 標 な 場 合 示 合 す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	社交ダンス教室を通じて、機能訓練・日常生活訓練を行い、健康の増進と社会活動への参加を促進させ、生きがいを高めています。			達成状況	障がい者の健康が増進され、社会活動への参加も促進されており、生きがいを高めています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		軽度の障がい者を対象にコミュニケーションと交流を重視した仲間づくりと生きがいつくりの場として多くの参加者があり、教室の定員も充足しています。教養文化活動等の機会を提供する事業として有効な手段だと考えます。				

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	社交ダンス教室	事業区分	その他
事務事業番号	00358				

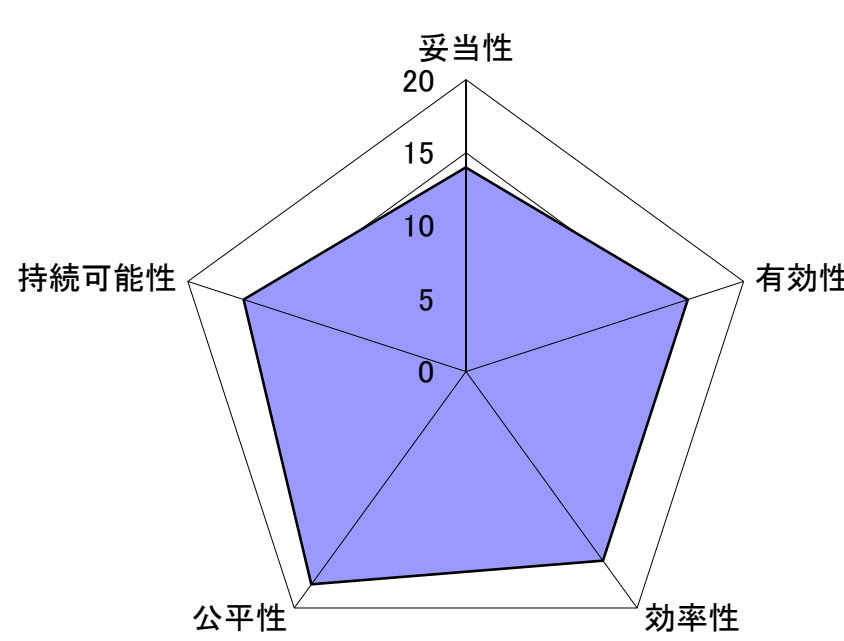
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		評価点合計 (100点満点)	80	

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00358
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	民謡教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更。											
(2)	直近の改正	平成19年度													
(3)	根拠法令等	吹田市総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	33							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	在宅障がい者及びその介護者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。													
(7)	事業概要	在宅の軽度身体障がい者に対し、民謡教室(年3回)を通じて、機能訓練・日常訓練を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	14	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		17	17	17	17	17							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
		総事業費(A+B)		432	415	435	435	426							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		432	414	435	435	426							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			432	414	435	435	426								
財源計(C+D)		432	414	435	435	426									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 民謡実施回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00	
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	民謡年3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		138.33	145.00	
				一般財源(単位:千円)		138.33	145.00	
	②	指標内容 民謡教室参加者数	目標値	(単位:人)	60.00	60.00	60.00	
実績値			(単位:人)	60.00	60.00			
達成度(%)			100.0	100.0				
目標値の積算方法		民謡教室定員20人×3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.92	7.25	
				一般財源(単位:千円)		6.92	7.25	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	民謡教室を通して、機能訓練・日常生活訓練を行い、健康の増進と社会活動の参加を促進させ、生きがいを高めています。			達成状況	障がい者の健康が増進され、社会活動への参加も促進されており、生きがいを高めています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		軽度の障がい者を対象にコミュニケーションと交流を重視した仲間づくりと生きがいつくりの場として多くの参加者があり、教室の定員も充足しています。教養文化活動等の機会を提供する事業として有効な手段だと考えます。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	民謡教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00359				

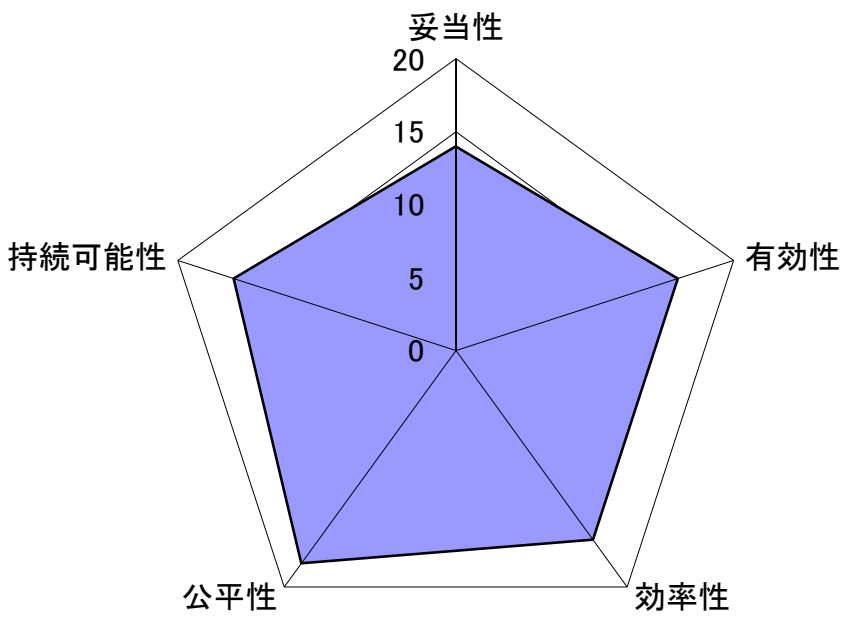
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00359
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加ニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	七宝焼教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	33							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
(7) 事業概要	在宅障がい者に対し、七宝焼教室事業を行うことにより、機能訓練・日常生活訓練を図ります。毎月第1・3金曜日の午後に総合福祉会館で実施しています。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	14	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		201	201	201	198	201							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		1,031	996	1,037	1,034	1,018							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		1,031	996	1,037	1,034	1,018							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		1,031	996	1,037	1,034	1,018								
財源計(C+D)		1,031	996	1,037	1,034	1,018								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施回数	目標値	(単位:回)	22.00	22.00	/	
			実績値	(単位:回)	22.00	22.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 年間教室実施回数 概ね月2回(第1・3金曜日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	45.27	47.00			
			一般財源(単位:千円)	45.27	47.00			
	②	指標内容 延べ利用人数	目標値	(単位:人)	176.00	176.00		/
実績値			(単位:人)	154.00	139.00			
達成度(%)			87.5	79.0				
目標値の積算方法 10人(1回あたりの定員)×80%(出席率) ×年間教室実施回数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.47	7.44			
			一般財源(単位:千円)	6.47	7.44			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	七宝焼教室を開催することにより、在宅障がい者の日常生活能力を高め、社会参加を促進します。			達成状況	七宝焼教室に参加し、創造力を高め、互いの交流を通じて社会参加も促進されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		在宅の軽度の障がい者を対象に創作活動、交流の場を提供し、障がい者の社会参加の場として役割を果たしています。参加人数については、横ばいですが、コミュニケーションを重視した創作の場として、自立の促進、生きがいづくり、身体機能の維持を目指す事業として有効な手段です。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	七宝焼教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00360				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00360
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	12	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。 今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ダンベル・ストレッチ教室事業				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	障害者自立支援法の経過措置終了に伴う要領名称の変更											
(2)	直近の改正	平成19年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立総合福祉会館福祉増進事業等実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	3	細節	33							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。													
(7)	事業概要	在宅障がい者に対し、ダンベル・ストレッチ教室事業を行うことにより、機能訓練・日常生活訓練を図ります。毎月第1・3金曜日の午前に総合福祉会館で実施しています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	14	大事業	2	中事業	6	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		192	192	192	192	192							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		1,022	987	1,028	1,028	1,009							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,022	987	1,028	1,028	1,009							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,022	987	1,028	1,028	1,009								
財源計(C+D)		1,022	987	1,028	1,028	1,009									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 実施回数	目標値	(単位:回)	22.00	22.00	22.00	
			実績値	(単位:回)	22.00	22.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間教室実施回数 概ね月2回(第1・3金曜日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		44.86	46.73	
				一般財源(単位:千円)		44.86	46.73	
	②	指標内容	延べ利用人数	目標値	(単位:人)	176.00	176.00	176.00
実績値				(単位:人)	190.00	164.00		
達成度(%)				108.0	93.2			
目標値の積算方法		10人(1回あたりの定員)×80%(出席率) ×年間教室実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.19	6.27	
				一般財源(単位:千円)		5.19	6.27	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	ダンベル・ストレッチ教室を開催することにより、在宅障がい者の日常生活能力を高め、社会参加を促進します。			達成状況	ダンベル・ストレッチ教室に参加し、自立の促進が図れ、互いの交流を通じて社会参加も促進されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		身近な場所でのリハビリ拠点が少なく、参加人数も年々増加し、健康の維持という面からも参加率も高い事業です。家族的な雰囲気の中で、コミュニケーションを重視し、機能訓練や参加者相互の交流、仲間づくりの場を提供する事業として有効な手段です。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	ダンベル・ストレッチ教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00361				

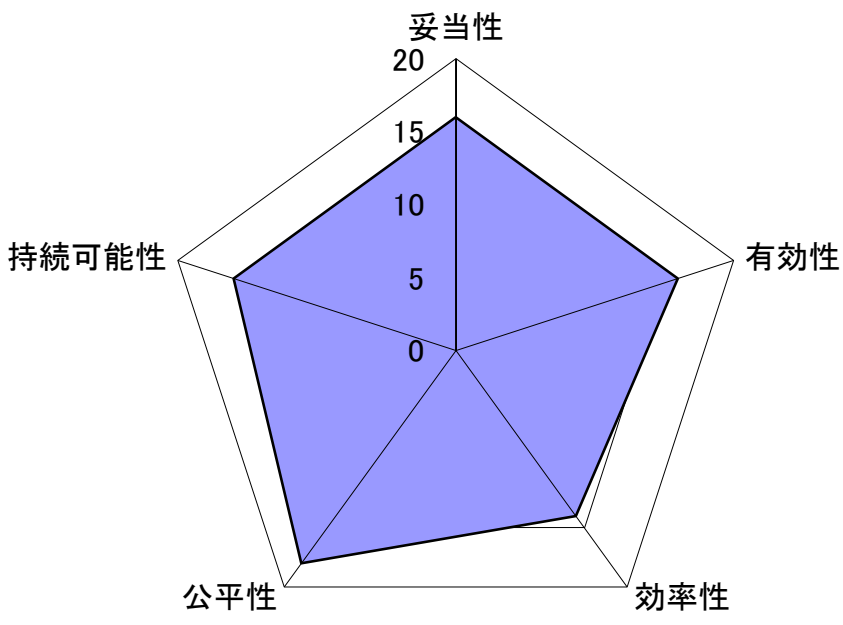
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00361
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生きがいを高める障がい者に対する文化教室等の開催が少なく、当該事業も含めて、高齢障がい者の増加やニーズの多様化を踏まえ、どのように充実していくのか検討が必要です。 今後も文化活動機会の少ない障がい者に、少しでも多くの機会が提供できるような環境を整えておく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	横井 基一

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	医療と介護の連携、認知症施策の推進、生活支援と介護予防サービスの充実、新しい介護予防と日常生活支援総合事業が新たに規定された。											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	12							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	概ね65歳以上の高齢者とその家族、介護者等											
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるようにします。 地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を図ります。												
(7) 事業概要	<p>地域包括支援センターの主たる事業。 地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門性や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワークを構築しつつ、個別サービスのコーディネートも行います。業務内容は、以下のとおりです。</p> <p>1 総合相談支援業務 ○地域におけるネットワーク構築○総合相談支援等 2 権利擁護業務 ○高齢者虐待への対応○成年後見制度の活用等 3 包括的継続的ケアマネジメント業務 ○地域のケアマネジャーへの支援とネットワーク構築 4 介護予防ケアマネジメント ○二次予防対象者への支援</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,076	1,673	1,032	115	1,026							
	人件費	職員数	4.00	18.00	4.00	4.00	3.00							
		総額(B)	千円	34,232	146,682	36,012	36,012	26,505						
	総事業費(A+B)		35,308	148,355	37,044	36,127	27,531							
	特定財源(C)		28,335	148,025	29,820	29,083	22,163							
	(内訳)	国	13,947	57,778	14,447	14,089	10,737							
		府	6,973	28,889	7,224	7,044	5,368							
		その他	7,415	61,358	8,149	7,950	6,058							
	市負担(D)		6,973	330	7,224	7,044	5,368							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	330	0	0	5,368							
一般財源		6,973	0	7,224	7,044	0								
財源計(C+D)		35,308	148,355	37,044	36,127	27,531								
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	医療法人 協和会										
			②	社会福祉法人 寿楽福祉会										
	主な委託内容		③											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	ケアマネジャー懇談会参加者数	目標値	(単位:人)	200.00	189.00	80.00
			実績値	(単位:人)	189.00	196.00	/	
		達成度(%)			94.5	103.7		
	目標値の積算方法	ケアマネジャー懇談会参加予定者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		784.95		184.32
				一般財源(単位:千円)		0.00	35.94	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	包括的支援事業相談件数(権利擁護・ケアマネ支援・総合相談の相談件数)片山、千里山東・佐井寺地域	目標値	(単位:件)	1,563.00	1,805.00
	実績値			(単位:件)	1,805.00	1,538.00	/	
	達成度(%)			115.5	85.2			
	目標値の積算方法	包括的支援事業相談件数前年度実績(権利擁護・ケアマネ支援・総合相談の相談件数)片山、千里山東・佐井寺地域	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		82.19		23.49
				一般財源(単位:千円)		0.00	4.58	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づき、第1号被保険者人口ごとに3職種(保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士)の人員数が定められており、専門職の数を充足させて高齢者人口の増加に対応した相談・支援体制をとることが必要です。					

事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館	事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00362				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00362
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域包括支援センターの案内パンフレットや高齢者虐待防止・成年後見制度・介護予防等の事業紹介チラシを相談窓口で配布しているほか、関係機関の協力を得ながら地域包括支援センターが地域における高齢者の総合相談窓口であることを周知してきたことで、相談・支援件数も増加しています。吹田市地域ケア会議には地区民生・児童委員会、地区福祉委員会、自治会、弁護士会、警察等が参加することで、地域の支援基盤の構築も進んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度介護保険法改正において、包括的支援事業に4事業が追加されたことに伴い、地域包括支援センターの機能強化として、業務量に応じた人員配置、センター間の役割分担、連携強化、事業の点検・評価の充実が求められています。